

海外実地研究2

「アメリカ西海岸および西部の 気象・気候と地形の関係を調べる」

期間 : 平成 28 年 9 月 3 日～9 月 15 日

場所 : アメリカ合衆国・西部

引率教員 : 中山裕則 教授, 加藤央之 教授

参加学生 : 地球科学科 1 年生 2 名

地球システム科学科

2～4 年生 25 名

物理学科 2 年生 1 名

合計 28 名

1. 概要

本海外実地研究では、まずサンフランシスコを訪れ、その自然環境と気象、気候の関係、特にこの地域特有の霧の発生状況を調べ、また、風と地形の関係による風力発電の状況を調査することを目的としました。

次に、複数の侵食地形とその環境について、ヨセミテの氷河地形と巨木の森、ザイオンやブライスカニオンおよびシーダーブレイクスにおける風、雨、洪水などによる侵食地形を調査し、さらに、モノ湖、デスバレー、グレートソルトレイクにおいて、乾燥地域特有の塩平原と塩湖、砂丘の分布、砂漠の気候、急峻な侵食地形などを調査し、アメリカ合衆国西部の気象、気候と地形の関係を学ぶとともに、それらと社会のかかわりについて考えることを目的としました。

2. 日程

日	月日	曜日	行程	宿泊地
1	9月3日	土	日本(成田)発 → <航空機> → ロスアンゼルス → サンフランシスコ	サンフランシスコ
2	4日	日	サンフランシスコ → ヨセミテで氷河地形の概要を調査 → マリポサ	マリポサ
3	5日	月	マリポサ → ヨセミテで氷河地形の形成について調査 → オークハースト	オークハースト
4	6日	火	マリポサ → リバモア/アルタモントで風力発電施設を見学 → オークハースト	オークハースト
5	7日	水	オークハースト → ヨセミテ・トウルミグローブでメタセコイアの分布調査 → タイオガロード → モノ湖 → マンモスレイク	マンモスレイク
6	8日	木	マンモスレイク → デスバレー国立公園にて砂漠地形調査 → ラスベガス	ラスベガス
7	9日	金	ラスベガス → バレーオブファイア州立公園にて侵食地形の調査 → ザイオン国立公園 → シーダシティ	シーダシティ
8	10日	土	シーダシティ → ブライスカニオン国立公園にて侵食地形についての調査 → シーダシティ	"
9	11日	日	シーダシティ → シーダレイクス国定公園にて侵食地形についての調査 → ソルトレイクシティ	ソルトレイクシティ
10	12日	月	ソルトレイクシティ → アンテロープ島で湖の水位変動を調査 → ソルトレイクシティ	"
11	13日	火	ソルトレイクシティ → ウィンドーバで塩平原と水位変化後を観察 → ソルトレイクシティ	"
12	14日	水	ソルトレイクシティ → <航空機> → シアトル → <航空機> →	(機中)
13	15日	木	→ <航空機> → 日本(成田)着	

3. 現地実習風景



図1 ヨセミテにて氷河侵食地形の観察.



図2 アルタモントの風力発電所で設備と設置環境について見学調査.



図3 モノ湖の形成について調査.



図4 バレーオブファイアにて侵食地形の調査.



図5 ブライスキャニオンにて浸食地形の調査.



図6 グレートソルトレイク・ソルトフラッツにて塩平原を調査.